

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2024年12月

結果公表日：2025年3月27日

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 18名回答、回答率 82%

職員の意見

○環境・体制整備

日々の清掃や破損した箇所の迅速な修復対応により、ご利用者様に対して清潔で安全な環境の提供ができている。また、クールダウンや休養を目的として、職員の許可のもとで一時的に相談室を使用できるようにしている。ただ水道に関して、冬季は水温が非常に低いため、丁寧な手洗いの習慣づけや、手荒れに繋がってしまう可能性があることを踏まえて、対策を検討したい。

○業務改善

児童を受け入れる前後でそれぞれミーティングを行い、児童の課題点や支援方針の共有や、当日の動きや児童対応などについて相談する時間を設けている。

また、年間を通して定期的に様々な内容の研修を開催し、質の良い支援に繋げていくよう努めている。

○適切な支援の提供

支援プログラムについて、毎月ミーティングを設け、5領域を均等に支援できるよう様々なジャンルやなどの支援を考えたり、季節感の得られるイベントを立案したりするなど、チームで準備・進行をしている。

また集団・個別ともに、児童の特性や年齢に合わせて難易度を設定したり、保護者に共有しながらカリキュラムを作成し、支援にあたっている。

○関係機関や保護者との連携

学校によって連携の密度は異なるものの必要に応じて連絡を取り、児童の保護者と専門員と他の利用事業所の職員と共に面談したりする機会はある。

また、今年度はジュニア教室と合同の課外活動のイベントを設けるなど、プラス教室卒業後の視野を広げる機会を提供できた。

○保護者への説明責任等

感染症拡大防止の観点から休止していた療育参観や保護者会を今年度より再開し、療育参観は年2回、保護者会は年1回の開催を行うことができた。

さらにブログの更新も再開した。教室内的様子や支援の取り組みについて、より具体的にお伝えできる場になるため継続的にやりたい。

○非常時等の対応

持病や通院、服薬について、適宜、情報のご共有をいただき、教室内で気になることがあった際は状況に応じて保護者様に連絡を取り、引き渡し時にその旨をお伝えしている。

また、ヒヤリハットの事案があった際や、身体拘束について、職員間で共通の認識を得られるよう、随時ミーティングの中で研修を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

「窓が高いため、お部屋が薄暗いので、照明などで改善されるともっと心地よくなると思う。」とのご意見をいただいた。

川沿いの立地だったり、季節によっては日光が入りにくかったりする点があるため、照明器具の交換等を検討し、より過ごしやすい空間の提供に繋げていく。

○適切な支援の提供

「子どものことをよく見て、また親の悩みも丁寧に聞いて支援してもらっているのが本当に助かっている。」「とても具体的に設定してくれるので親も勉強になる。」「毎日いろいろなプログラムを実施してくれて、素晴らしい。」といった励みになる評価をいただいた。

一方で、本施設以外の子どもの関わりについて、「交流はないが、定型発達の子たちからすれば正直「障害者」という感じの子なので浮いてしまうのが目に見えてしまい、想像するだけで苦しいので、今のまま安心出来る場所と人の中で活動してほしいというのが本音だ。」という率直なご意見があった。「共生社会の実現に貢献」を目指す弊社として何か手立てはあるか模索を続けたい。

○保護者への説明等

お子様への支援の様子や保護者会等の開催について、今年度は2回の療育参観と1回の保護者会を実施したが、より多くのご家庭に出席していただくよう次年度も継続して開催し、お子様への支援の様子を見学していただく機会を設けたい。

○非常時等の対応

非常時の対応について、8割のご家庭に肯定的な印象を抱いていただいているものの、「どちらともいえない」「未回答」の回答を複数いただいたため、保護者への周知・説明方法を改めて、ご理解が得られるようにする。

○満足度

「とても楽しく伸び伸びと通っている。通うのを毎週楽しみにしている。」「スマートに行きたいから、学校に行く！と言うくらい楽しく通わせてもらっている。」「親子共々あたたかく支援してもらえて本当に助かっている。」といった回答をいただいた。引き続き、満足度100%を目指して向上を図りたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・コロナ禍においても課外活動を安心して実施できるよう、感染対策を徹底して機会を増やす。
- ・保護者へ教室の様子が伝わるように、日々の引き渡し時の説明や連絡帳への記載を丁寧に行うことを心掛けていく。また、ブログの更新時期と担当者を決めることで教室内での取り組みがわかりやすいようにしていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・主に学校休業日に課外活動を実施することができたため、さらに活発的に取り入れていきたい。
- ・より丁寧な引き渡し時の申し送りや連絡帳への記載を心がけたが、より教室での様子を知っていただくため、療育参観や保護者会の開催の周知する。
- ・ブログ更新の再開はできたが、定期的な更新を行えるよう向上を図る。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・支援プログラムについて、毎月ミーティングを行い、活動内容が固定化されないよう工夫を図りながら、また保護者からのニーズを汲み取りながら、検討して準備にあたることができ、実施に際しては多くの利用者から好評をいただいた。

○改善点

- ・療育参観や保護者会の開催の再開はしたものの、保護者会の開催について「分からない」を選択したご家庭がおよそ4割あった。
- ・非常時の対応について、「どちらともいえない」「分からない」を選択したご家庭がおよそ2割あった。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者とは半年に一回の面談以外にも、家族支援等を通じて児童の課題を確認し、より良い支援に反映していく。
- ・送迎サービス利用の希望が多いが、自立に向けた入退室方法をともに考え、提案し、実際に挑戦していく。
- ・適切な職員体制を維持していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・定期的なブログの更新。
- ・療育参観、保護者会等の継続的な開催と周知徹底を行う。
- ・非常時の対応について具体的に提示し、かつ透明性をあげる。
- ・調理活動や課外活動といったより活発的で多様な集団療育の取り組み。
- ・他教室との合同的な療育活動の実施による包括的な交流の深化。